

記者発表資料
 配付日

令和3年3月5日

 ■同時発表先：島根県政記者会
 出雲市政記者クラブ

斐伊川の河川環境の保全を目指して

～ 尾原ダムに流入した土砂を下流河川に投入して環境保全に取り組みます ～

尾原ダムでは、下流域の河川においてスナヤツメ[※]などの砂地を生活基盤とする生物に配慮し、生息環境の保全に向け、尾原ダムでは昨年4月に約100^mの土砂投入(ダムに流入した土砂を下流河川に投入して供給)の実施しておりモニタリング調査を実施しました(モニタリングの概要等は、別紙「土砂還元の取り組み効果」参照)。モニタリング調査の結果、令和2年4月に投入した約100^m程度の土砂量では、ダム下流河川へ与えた環境変化がほとんどないことが確認されました。

そこで今回は、投入土砂量を約100^mから約300^mに増やし、下記のとおり実施することとしました。引き続き、ダム下流河川の環境変化を確認しながら継続的に環境保全に取り組んでまいります。

<土砂還元の取り組み実施状況(令和2年4月)>



※スナヤツメ
 流れの穏やかな湧水環境を有する砂泥底に生息



○ 実施概要

- ・ とき 令和3年3月11日(木) 9時頃～16時頃(予定)
(予備日：令和3年3月12日(金))
- ・ ところ 尾原ダム直下の河川内(詳細は別紙参照)
- ・ その他 当日の気象条件等によっては変更する場合がございます

※ 沿川で見られる場合は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からソーシャルディスタンスをとるなどの対策をお願いします。

<問い合わせ先>



尾原ダムキャラクター「すさのおくん」

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技)

ひらい まさゆき
 平井 雅之

0853-21-1850(代表)

【担当】 尾原ダム管理支所長

かわぐち ゆきひろ
 河口 幸広

0854-48-0780(代表)

〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町5-1 電話：0853-21-1850(代表)

WEBサイトのURL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

別紙

○ 土砂還元の取り組みの効果

土砂還元の取り組みにより得られる効果のイメージは、右図のとおりです。

一方で、土砂還元の取り組みの実施にあたっては、土砂の堆積に伴う利水面・治水面の障害、景観の変化等の影響への留意が必要となるため、土砂還元の効果や影響を把握するモニタリング調査(河床材料、横断測量、空中写真、付着藻類、魚類)を実施します。

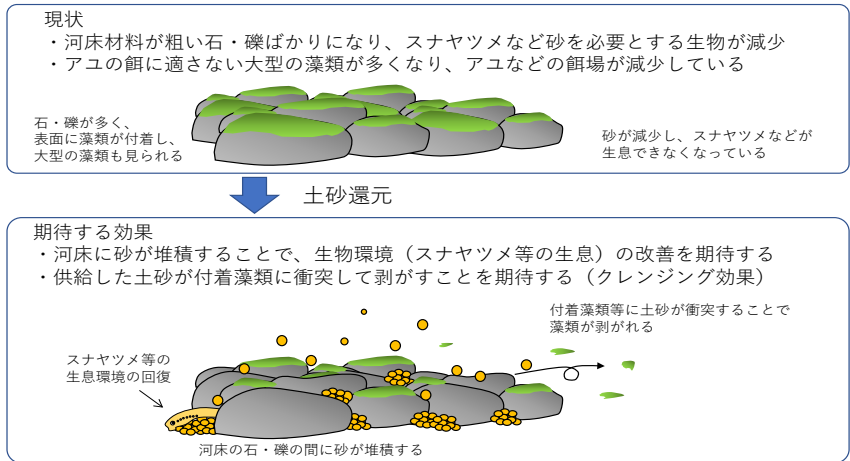
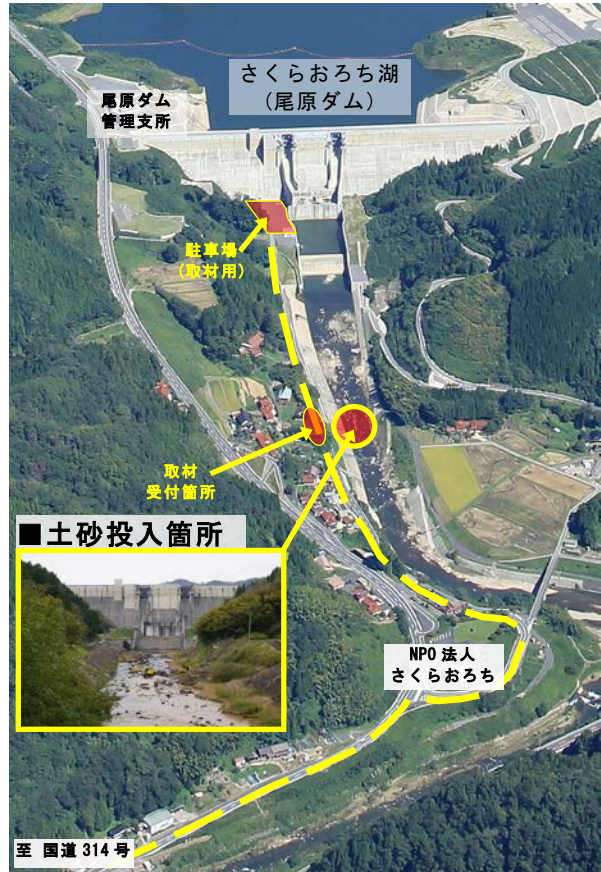


図 土砂還元の取り組みにより得られる効果のイメージ

○ 尾原ダムへのアクセス



○ 取材対応について

当日の現地での取材は、上記の「取材受付場所」にてお願いします。

(投入箇所付近での取材は、安全確保のため、ご遠慮願います。)

取材の乗入車両は上記の尾原ダム下流広場を開放しますので係員の案内により駐車願います。

取材の対応時刻は、当日「9時～11時」までとします。

当日の気象状況等により中止する場合がございますので、確認する場合は、問い合わせ先の担当者までお問い合わせください。

※ 取材を希望される方は、新型コロナウイルス感染症対策のため、必ず、マスク、その他(せき、くしゃみ等を防止できるもの)の着用、ソーシャルディスタンスの確保等、ご配慮いただきますようお願いいたします。